

各位

中野区保健所長

中野区感染症発生動向調査情報集計結果の送付について

中野区の平成29年第34週(8月21日～8月27日)分情報、東京都・全国情報を下記のとおり送付いたします。中野区分につきましては最新の情報を提供しております。なお、速報性を優先していますので調査結果によっては、後日、情報が訂正されることがあります。

記

1 中野区集計

- ① 全数届出患者数一覧(中野区届出分)
 - ② 定点報告疾患集計(中野区届出分)
- 2 東京都感染症情報センター 感染症週報(第33週)
 - 3 厚生労働省/国立感染症研究所 IDWR感染症週報(第32週・抜粋)

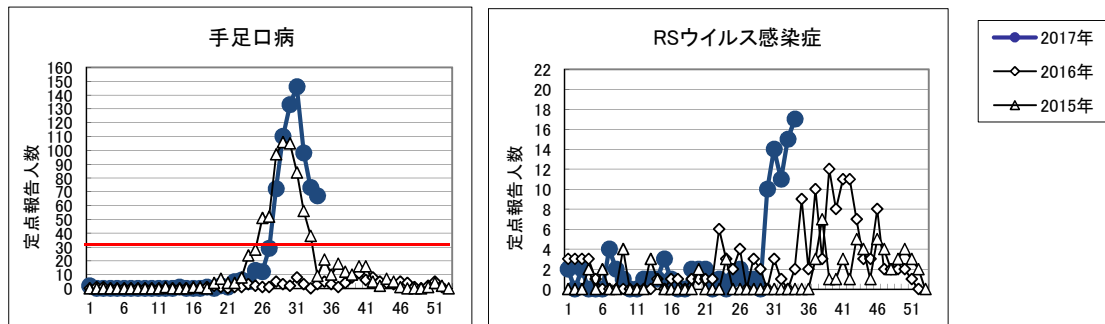
区内定点よりの調査票通信(34週速報)

・不明発疹症の13歳女児は薬疹の疑いが強いです(上鷲宮定点)。

コメント

●手足口病の定点報告数は第31週をピークに減少して来ていますが、今だ患者数の多い状態が続いています(67人、定点当り11.2人)。

●RSウイルス感染症の定点報告数は引き続き多い状態が続いています(17人、定点当り2.8人)。



○今週、2類の全数届出として結核が2人報告されました。患者さんは20歳代の男性(肺結核、喀痰塗抹陽性)、および80歳代の男性(肺結核、喀痰塗抹陽性)です。

●今週、3類の全数届出として腸管出血性大腸菌感染症が2人報告されました。患者さんは8歳男児(O157,VT2陽性)、および10歳代の女性(O157,VT1VT2陽性)です。腹痛、水溶性下痢、血便、発熱等の症状があり、いずれも入院治療。感染原因等は調査中です。

○今週、5類の全数届出として後天性免疫不全症候群(無症候性キャリア)が報告されました。患者さんは30歳代の男性で、即日検査において判定保留、その後の確認検査でHIV陽性確定となりました。同性間性的接触が原因とされています。

○今週、5類の全数届出として梅毒が2人報告されました。患者さんは20歳代の女性(I期の早期顕症梅毒)と30歳代の男性(II期の早期顕症梅毒)で、鼠径リンパ節腫脹(無痛性)および咽頭炎と梅毒性バラ疹の症状がありました。

前者は風俗勤務による異性間性的接触が原因とされていますが、後者は性的接触の詳細不明です。

中野区感染症発生動向調査週報

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/402000/d001703.html>

①-1 全数届出患者数一覧(中野区届出分) 一類から四類感染症まで

分類	疾病名	30週	31週	32週	33週	34週	2017年 報告数
一類	エボラ出血熱						
	クリミア・コンゴ出血熱						
	痘そう(天然痘)						
	南米出血熱						
	ペスト						
	マールブルグ病						
	ラッサ熱						
二類	急性灰白髄炎						
	結核		1	2		2	58
	ジフテリア						
	重症急性呼吸器症候群(SARS)						
	中東呼吸器症候群(MERS)						
	鳥インフルエンザ(H5N1)						
	鳥インフルエンザ(H7N9)						
三類	コレラ						
	細菌性赤痢						
	腸管出血性大腸菌感染症			4	3	2	9
	腸チフス						
	パラチフス						
四類	E型肝炎						
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)						
	A型肝炎						
	エキノコックス症						
	黄熱						
	オウム病						
	オムスク出血熱						
	回帰熱						
	キャサヌル森林熱						
	Q熱						
	狂犬病						
	コクシジオイデス症						
	サル痘						
	ジカウイルス感染症						
	重症熱性血小板減少症候群(※注)						
	腎症候性出血熱						
	西部ウマ脳炎						
	ダニ媒介脳炎						
	炭疽						
	チクングニア熱						
	つつが虫病						
	デング熱						
	東部ウマ脳炎						
	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)						
	ニパウイルス感染症						
	日本紅斑熱						
	日本脳炎						
	ハンタウイルス肺症候群						
	Bウイルス病						
	鼻疽						
	ブルセラ症						
	ベネズエラウマ脳炎						
	ヘンドラウイルス感染症						
	発疹チフス						
	ポツリヌス症						
	マラリア						
	野兔病						
ライム病							
リッサウイルス感染症							
リフトバレー熱							
類鼻疽						1	
レジオネラ症						1	
レプトスピラ症							
ロッキー山紅斑熱							

※注: 病原体がレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

①-2 全数届出患者数一覧(中野区届出分) 五類感染症

分類	疾病名	30週	31週	32週	33週	34週	2017年 報告数
五類	アメーバ赤痢						1
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)						
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症						
	急性脳炎						
	クリプトスポリジウム症						
	クロイツフェルト・ヤコブ病						1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症						1
	後天性免疫不全症候群			1		1	7
	ジアルジア症						
	侵襲性インフルエンザ菌感染症						
	侵襲性髄膜炎菌感染症						
	侵襲性肺炎球菌感染症						1
	水痘(入院例に限る)						
	先天性風しん症候群						
	梅毒				1	2	15
	播種性クリプトコックス症						
	破傷風						
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症						
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						
	風しん						1
麻しん							
薬剤耐性アシネトバクター感染症							

② 定点報告疾患集計(中野区分)

定点種別	疾病名	30週	31週	32週	33週	34週	2017年 報告数
インフルエンザ	インフルエンザ			1	2	1	2983
小児科	RSウイルス感染症	10	14	11	15	17	97
	咽頭結膜熱	10	8	4	2	1	168
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	7	8	3	5	393
	感染性胃腸炎	29	41	26	20	15	1765
	水痘	2				1	113
	手足口病	133	146	98	73	67	776
	伝染性紅斑	3	1	2			56
	突発性発疹	6	4	3	1	2	158
	百日咳						
	ヘルパンギーナ	25	21	7	11	8	134
	流行性耳下腺炎	2	1			2	72
	不明発疹症					2	5
	MCLS(川崎病)						1
眼科	急性出血性結膜炎						1
	流行性角結膜炎	1			1		9
基幹	細菌性髄膜炎						
	無菌性髄膜炎						
	マイコプラズマ肺炎						
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)						
	感染性胃腸炎(※注)						

※注:病原体がロタウイルスであるものに限る。

中野区の定点

インフルエンザ定点数	10	10	10	10	10	10
小児科定点数	6	6	6	6	6	6
眼科定点数	1	1	1	1	1	1
基幹病院定点数	0	0	0	0	0	0
性感染症(STI)定点 [月報]	2	2	2	2	2	2